

■令和7年度第1回音更町総合計画審議会（令和7年5月12日（火）開催）での意見等対応調書

No.	該当箇所	委員名	意見等の内容	意見等への対応案	担当課
1	目標指標について	作田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・観光分野の目標指標である入込数やウェブサイトの閲覧数等は表面的な数字であり、これらの指標の先にあるお客様がもたらす数字や経済効果が本来の目標になるのではないか。 ・観光分野に限らず、表面的な数字だけではなくもう一步踏み込んだ目標を立てていくと良いのではないか。 	目標指標の設定については、他自治体の事例を参考としながら、次期総合計画の策定に向けて検討していく。	商工観光課
2	全国和牛能力共進会について	森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画見直し案の畜産関連分野で令和9年に開催される全国和牛能力共進会に関して項目が追加されているが、畜産の分野だけではなく、商業や観光にも、広くアピールされるような祭典であることから、計画の中でもう少し盛り込んで良いのではないか。 	<p>第1章「観光」の分野に和牛全共に関する項目を追加する。 ⇒別紙のとおり修正</p>	全共対策室

分野別基本計画調査

修正なし □

章(基本目標)		第1章		経済の好循環でつくる元気あふれるまち																
分野		6		観光																
担当部署		企画課、商工観光課、全共対策室																		
●対応するSDGsの目標番号 ●地域福祉計画との包含状況	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	地域福祉		
								○	○		○	○						○		
現状と課題 <p>①本町の観光業は、北海道遺産に認定された「モール温泉」が湧出する十勝川温泉及び2つの道の駅を主要な観光資源としており、多くの経済波及効果が期待されている一方で、近年は宿泊客の減少傾向による入湯税減収などにより、観光振興 関連施策に充てる独自財源の確保が次第に困難にとなっています。</p> <p>②観光客 入込客数(交流人口)は、ガーデンスパ十勝川温泉の開業を受けた2017(平成29)年度に2022(令和4)年度の道の駅おとふけ移転開業による日帰客数増加により過去最高の154万3千人255万5千人を記録したものの、経済波及効果の大きいうち宿泊客延数では、1996(平成8)年度の70万泊をピークに減少傾向が続いており、この間に近年は宿泊施設が減少したという状況もあってしていることから、2019(令和元)2023(令和5)年度には39万人 37万4千人となっています。</p> <p>③外国人観光客による宿泊 外国人宿泊客延数については、2017(平成29)年度に の7万8千人と が過去最高となっていますが、以降は自然災害や国家間の関係悪化などにより頭打ちの状態にあります。新型コロナウイルス感染症による人流規制が緩和されて以降、円安傾向が続いていることや、2025(令和7)年度にはとちか帯広空港と韓国を結ぶ国際定期便が就航するなど、外国人観光客の更なる入込みが見込まれています。</p> <p>④2020(令和2)年初頭からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響が極めて大きく、国内外に限らず観光客入込数は大幅な減少が見込まれています。</p> <p>⑤ ④このような状況の中、「アフターコロナ」を見据えた国を挙げての取組に加え、本町でも、音更町十勝川温泉観光協会など関係団体と連携し、「十勝川温泉スタイル※」安心宣言の下、絶えず変化する観光客動向の分析を踏まえた誘客活動に取り組んでいくことが必要です。</p> <p>⑥ ⑤温泉街のにぎわい創出と地域活性化を目的として、新たな集客拠点施設整備や周辺市街地再整備など官民連携の取組により誕生したガーデンスパ十勝川温泉が、2020(令和2)年7月22日に道の駅として再オープンしたほか、道東自動車道のスマートインターチェンジ※の設置については、国による事業化が決定されました、整備が進められています。これらを活用して十勝川温泉地区へのより一層の集客を図るためには、効果的な情報発信や、秋から冬の閑散期に向けた対策などの取組が必要です。</p> <p>⑦2022(令和4)年度には、町の魅力を伝え、町内外の様々な人たちの交流促進を図るための施設整備として、道の駅おとふけが移転開業しましたが、当初想定を大きく上回る来場実績が続いていることから、指定管理者と今後の運営計画や設備投資について協議しつつ、道の駅ガーデンスパ十勝川温泉と共に持続的な魅力発信に向けた検討が必要です。</p> <p>⑧国が、外国人を含む観光振興による交流人口の拡大を重点施策としている中、本町でも、おもてなしの心(ホスピタリティ)を町全体で高めながら、地域資源などを活かした魅力ある滞在型観光素材の発掘や開発、地元客を含めたリピーター(ファン)づくり、新たな顧客の拡大、ワーケーション※のような新しい宿泊客の受入体制などが必要です。</p> <p>⑨音更町、土幌町、上土幌町、鹿追町では、北十勝4町広域観光振興連絡協議会を設置し、広域連携による観光振興を推進しています。旅行形態の団体型から個人型への変化など顧客ニーズに対応するためには、広域連携により、それぞれの観光資源の魅力を高めしていく取組が求められています。</p> <p>⑩道内7空港の一括民営化を受け、帯広市を中心に十勝一丸となって関係地区との連携を図っていくことが必要です。</p> <p>⑩令和9年8月に本町と帯広市で開催される「第13回全国和牛能力共進会北海道大会」には、約38万人の来場者が予想されており、全国にまちの魅力を発信する好機となっています。</p> <p>※十勝川温泉スタイル:新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための「6つの取組」。①スタッフのマスク着用や小まめな手洗い、②スタッフの健康管理の徹底、③施設内の定期的な換気、④設備・器具などの定期的な消毒・洗浄、⑤人と人との接触機会を減らす取組、⑥お客様へのマスク着用や手洗いの呼びかけ。</p> <p>※スマートインターチェンジ:高速道路の本線やサービスエリアなどから乗り降りができるように設置される、ETC(自動料金収受システム)専用インターチェンジ。</p> <p>※ワーケーション:ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇を取る過ごし方。</p>		現状と課題・変更理由等																		
		番号	変更内容	変更理由		その他														
		①	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	機構改革等により文言を整理する。															
		②	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	数値を更新するとともに、文言を整理する。															
		③	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	情勢の変化により、文言を整理する。															
		④	削除	その他 ※右欄へ詳細記入	情勢の変化により削除する。															
		④	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	情勢の変化により、文言を整理するとともに、項目番号を修正する。															
		⑤	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	情勢の変化により、文言を整理するとともに、項目番号を修正する。															
		⑥	追加	その他 ※右欄へ詳細記入	機構改革により、「産業連携」分野から移管する。															
		⑦																		
⑧																				
⑨																				
新	追加	新規事業	全共でのまちの魅力を発信についての項目を追加する。																	

目指す方向	<p>①観光協会をはじめとする関係団体と連携し、本町への観光客誘致の取組を進め、交流人口の増加を図ります。</p> <p>②北海道遺産「モール温泉」や十勝川温泉の知名度向上のほか、観光資源保存への取組を強化します。</p> <p>③顧客層の多様化を想定し、それぞれに対応したハード整備、地域資源を活用した観光メニューや土産などの開発、効果的なイベントなどを検討します。</p> <p>④「また来たくなる温泉 まち」、「滞在したくなる温泉 まち」、「住みたくなる温泉 まち」への地域イメージづくりを進めます。</p> <p>⑤道東自動車道にスマートインターチェンジが設置されることを見据え、道央圏からの誘客や新千歳空港からの道外客・外国人客の誘客を強化します。また、これに伴う受入体制整備にも取り組めます。</p> <p>⑥道の駅おとふけ、道の駅ガーデンスパ十勝川温泉を中心 核とした、にぎわいのある温泉街 まちづくりを進めるとともに、自然や農村の風景、また、花と緑を活用した景観づくりやサイクルツーリズム※への取組を進めます。</p> <p>⑦新たな視点で時代のニーズに即応できる人材を育成します。</p> <p>⑧広域連携を深化させ、それぞれの魅力や特長を組み合わせる様々な観光需要に対応できるような取組を行います。</p> <p>⑨こうした観光振興施策の実効性を高めるべく、新たな観光振興財源の確保を図ります。</p> <p>※サイクルツーリズム：自転車を活用した観光の総称。</p>		目指す方向・変更理由等					
			番号	変更内容	変更理由		その他	
			①					
			②	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	現状等を踏まえて、文言を整理する。		
			③	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	現状等を踏まえて、文言を整理する。		
			④	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	現状等を踏まえて、文言を整理する。		
			⑤	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	現状等を踏まえて、文言を整理する。		
			⑥	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	現状等を踏まえて、文言を整理する。		
			⑦					
			⑧					
新	追加	新規事業	令和8年4月の導入に向け調整中の宿泊税に関する取組等を踏まえて追加する。					
施策	施策名		総合戦略		施策・変更理由等			
	番号	変更内容	変更理由		その他			
	(1)	交流人口の拡大に向けた観光振興事業の推進						
	(2)	音更の魅力の活用、PR						
関連する個別計画	<p>●十勝川温泉観光開発計画 ●音更町公共施設等総合管理計画 ●音更町十勝川温泉観光ガイドセンター個別施設計画</p> <p>●音更町自転車活用推進計画</p>		関連する個別計画変更理由	<p>(例1)計画名に変更があったため</p> <p>(例2)新しく計画策定になったため</p> <p>新しく計画策定になったため</p>				

施策別基本計画調書

章(基本目標)		第1章 経済の好循環でつくる元気あふれるまち														
分野		6 観光														
施策 / 施策の内容(詳細事項)				施策 / 施策の内容(詳細事項)・変更理由等												
(1) 交流人口の拡大に向けた観光振興事業の推進				番号	変更内容	変更理由	その他									
①	観光客の滞在日数の増加や交流を図るため、道の駅が「デンスパ十勝川温泉を中心に非日常を感じ、歩いてみたくなるような十勝川温泉市街の道の駅の機能強化に加え、子どもや若年層が通年で楽しめるような施設整備、宿泊拠点である十勝川温泉街周辺の環境整備について検討を進めます。	①	修正	新規事業	屋内遊戯施設検討開始等により、文言を整理する。											
②	観光客の利便性向上のため、二次交通※や地域内移動などの充実に努めます。	②														
③	モール温泉を有効に活用するため、集中管理体制の維持に努めます。	③														
④	国際化、広域化に対応した観光客受入環境整備とサービス、企画などの充実、他地域との連携による新たな広域観光ルートの形成を進めます。	④														
⑤	滞在型観光を促進するため、参加型、体験型観光メニューの充実を図ります。	⑤														
⑥	観光協会をはじめとする関係団体との連携強化、観光協会やDMO※の育成と支援を図ります。	⑥														
⑦	観光協会などと連携し、集客効果の高い観光イベントを実施するほか、サイクルツーリズムの推進に努めます。	⑦														
⑧	町内観光振興に充てる新たな独自財源として宿泊税を導入します。	新	追加	新規事業	令和8年4月の導入に向け調整中の宿泊税に関する取組等を踏まえて追加する。											
※二次交通: 空港や鉄道駅から観光地までを結ぶ交通手段。																
※DMO: Destination Marketing/Management Organizationの略で、観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人。																
(2) 音更の魅力の活用、PR																
①	モール温泉や食をはじめとする音更町の魅力を発信するほか、観光客が必要とする情報をよりの確、迅速に発信する取組を進めます。	①														
②	より魅力ある観光地づくりを推進するため、環境整備、食、企画などに積極的に地域資源を活用します。	②														
③	音更町の魅力を、再訪したくなる要素として活かせるように、地域資源を活用した土産、特産品ニーズの把握、商品開発支援などの取組を推進します。	③														
④	商工会や関係事業者と連携して、音更メロディーライン※沿線の 通じて両道の駅を結び、周辺景観や食、地域資源との融合により、新たな魅力発信を進めます。	④	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	機構改革等により文言を整理する。											
⑤	食や景観など本町の地域資源等を活用しながら、魅力発信につながる取組を行う民間事業者などを支援します。	新	追加	新規事業	令和6年度から十勝毎日新聞社が行う「音更いちょうまつり」への補助などに取り組んでいることを踏まえて追加する。											
⑥	「第13回全国和牛能力共進会北海道大会」の開催に向けて、関係機関と連携しながら、地域が一体となり、まちの魅力発信を進めます。	新	追加	新規事業	全共でのまちの魅力の発信についての項目を追加する。											
※音更メロディーライン: 音更帯広インターチェンジから十勝川温泉までの観光ポイントを結ぶ町道の愛称。																
目標指標				目標指標・変更理由等												
番号	変更内容	変更理由	その他	R12【目標数値の積算根拠】												
(1)-1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標名</th> <th>指標の説明</th> <th>当初数値・年度</th> <th>中間数値・年度</th> <th>目標数値・年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込客数</td> <td>全国観光統計基準及び北海道観光入込客数調査要領に基づき報告する観光入込客数(年間)</td> <td>1,419千人 R1</td> <td>1,450千人 R6</td> <td>1,500千人 2,800千人 R12</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度	観光入込客数	全国観光統計基準及び北海道観光入込客数調査要領に基づき報告する観光入込客数(年間)	1,419千人 R1	1,450千人 R6	1,500千人 2,800千人 R12	(1)-1	修正	その他 ※右欄へ詳細記入	道の駅おとふけ移転開業後実場実績反映による上方修正を行う。	うち日帰客数:2,374千人 →R5実績+屋内遊戯施設稼働想定230千人 ※230千人→R5エコバー実績、R5ガスバ実績と同程度 うち宿泊客数:421千人 (過去10年で最多であったH29実績) ÷2,800千人
目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度												
観光入込客数	全国観光統計基準及び北海道観光入込客数調査要領に基づき報告する観光入込客数(年間)	1,419千人 R1	1,450千人 R6	1,500千人 2,800千人 R12												
(1)-2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標名</th> <th>指標の説明</th> <th>当初数値・年度</th> <th>中間数値・年度</th> <th>目標数値・年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊客延数</td> <td>同上報告における宿泊客延数(年間)</td> <td>415千人 R1</td> <td>430千人 R6</td> <td>450千人 R12</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度	宿泊客延数	同上報告における宿泊客延数(年間)	415千人 R1	430千人 R6	450千人 R12	(1)-2				
目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度												
宿泊客延数	同上報告における宿泊客延数(年間)	415千人 R1	430千人 R6	450千人 R12												
(2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標名</th> <th>指標の説明</th> <th>当初数値・年度</th> <th>中間数値・年度</th> <th>目標数値・年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光協会Webサイトアクセス数</td> <td>観光協会Webサイトへの閲覧アクセス数(ページビュー数)の合計(年間)</td> <td>691千件 R1</td> <td>850千件 R6</td> <td>1,000千件 R12</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度	観光協会Webサイトアクセス数	観光協会Webサイトへの閲覧アクセス数(ページビュー数)の合計(年間)	691千件 R1	850千件 R6	1,000千件 R12	(2)	削除	その他 ※右欄へ詳細記入	より効果検証のしやすい指標に変更する。	
目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度												
観光協会Webサイトアクセス数	観光協会Webサイトへの閲覧アクセス数(ページビュー数)の合計(年間)	691千件 R1	850千件 R6	1,000千件 R12												
(1)-3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標名</th> <th>指標の説明</th> <th>当初数値・年度</th> <th>中間数値・年度</th> <th>目標数値・年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①道の駅おとふけ及び②道の駅ガーデンスパ十勝川温泉の来場者数(年間)</td> <td>各道の駅指定管理者が集計する来場者数</td> <td>- R1</td> <td>①700,840人 ②200,000人 R6</td> <td>①1,300,000人 ②250,000人 R12</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度	①道の駅おとふけ及び②道の駅ガーデンスパ十勝川温泉の来場者数(年間)	各道の駅指定管理者が集計する来場者数	- R1	①700,840人 ②200,000人 R6	①1,300,000人 ②250,000人 R12	新	追加	その他 ※右欄へ詳細記入	機構改革による(移り、「産業連携」分野からの移管)する。	①道の駅おとふけ移転開業後実場実績反映による上方修正(R6来場者数年間実績と同程度を維持)
目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度												
①道の駅おとふけ及び②道の駅ガーデンスパ十勝川温泉の来場者数(年間)	各道の駅指定管理者が集計する来場者数	- R1	①700,840人 ②200,000人 R6	①1,300,000人 ②250,000人 R12												
(2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標名</th> <th>指標の説明</th> <th>当初数値・年度</th> <th>中間数値・年度</th> <th>目標数値・年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光関連SNSフォロワー数</td> <td>①道の駅おとふけ、②道の駅ガーデンスパ十勝川温泉および③観光協会インスタグラムアカウントのフォロワー数</td> <td>- R1</td> <td>- R6</td> <td>①8,000人 ②4,000人 ③4,000人 R12</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度	観光関連SNSフォロワー数	①道の駅おとふけ、②道の駅ガーデンスパ十勝川温泉および③観光協会インスタグラムアカウントのフォロワー数	- R1	- R6	①8,000人 ②4,000人 ③4,000人 R12	新				道内他地区道の駅アカウント、観光協会アカウントとの比較した上での目標設定(R7.3.18現在 ①3,863人、②2,196人、③1,668人フォロワー数からのおよそ倍増)
目標指標名	指標の説明	当初数値・年度	中間数値・年度	目標数値・年度												
観光関連SNSフォロワー数	①道の駅おとふけ、②道の駅ガーデンスパ十勝川温泉および③観光協会インスタグラムアカウントのフォロワー数	- R1	- R6	①8,000人 ②4,000人 ③4,000人 R12												